

令和7年度

実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード)

37-FE250-06-10-08

建設工事名

令和7年度(道補)瀬戸口橋更新工事

路線河川名

建設工事箇所

藤枝市本郷地内

建設工事金額

工期

令和8年7月31日限り

週休2日推進工事補正 (週単位(完全週休2日))

建設工事概要	鋼橋架設工	73.55	m
	伸縮装置設置工	8	m
	橋梁用防護柵工	149	m
	仮設工	1	式

歩掛・単価適用年度

令和7年10月

基本単価

令和7年10月

地区コード

220 地区

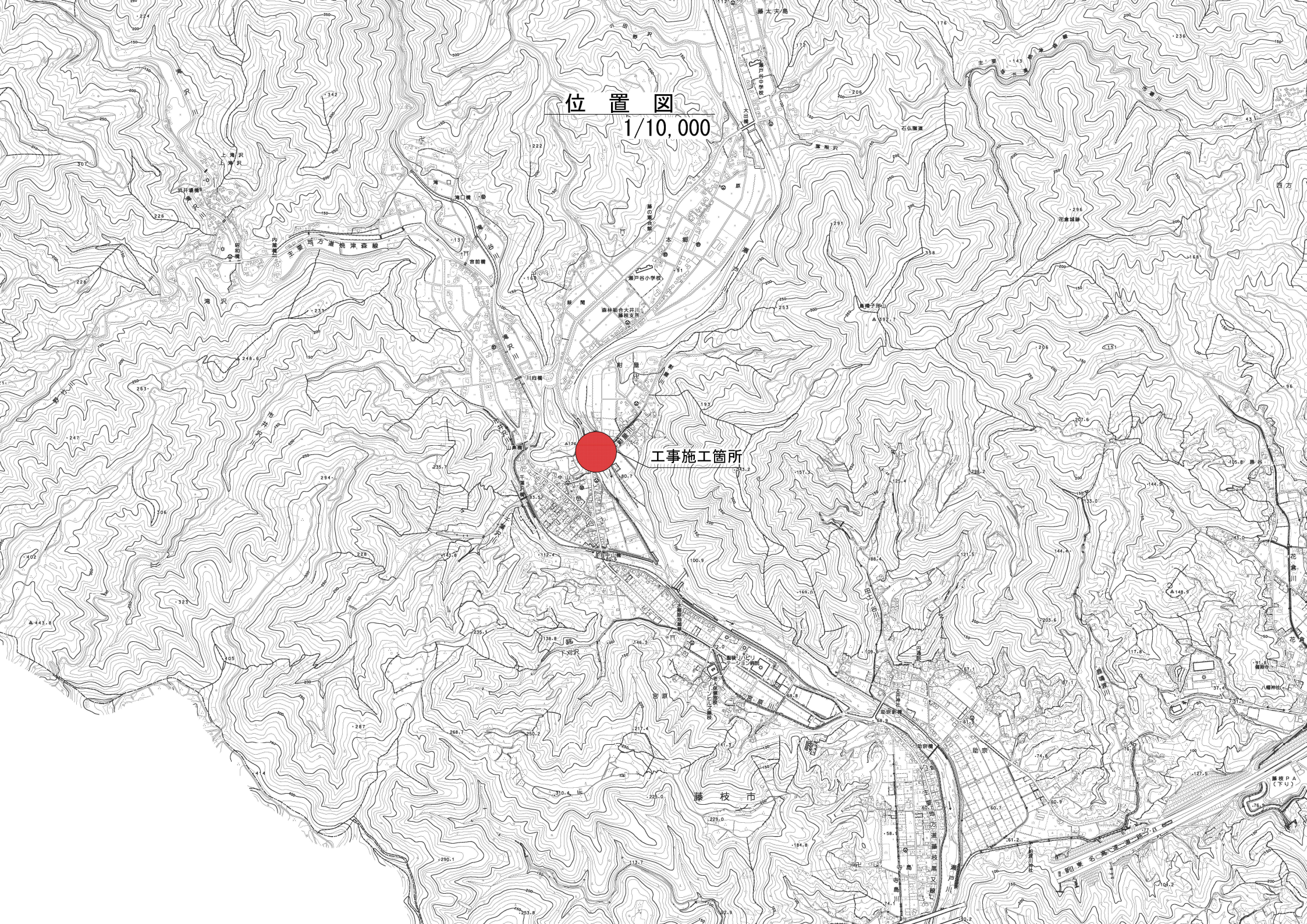
起 終 点 指 定

⇔

位置図
1/10,000



工事施工箇所



工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 鋼橋架設工事 (瀬戸口橋 L=73.55m W=5.2m)					
式	1				
-- 橋梁付属物工					
式	1				
--- 伸縮継手工					
式	1				
---- 伸縮装置 ハイリフトジョイント CS-80 H=150					M0200
m	8				第 1号表
--- 地覆工					
式	1				
---- 地覆工 巾60cm 延長 73.27m 両側					M0203
式	1				第 3号表
--- 橋梁用防護柵工					
式	1				
---- 橋梁用防護柵工 アルミ合金製C種高欄兼用車両防護柵 (H=850)					M0204
式	1				第 5号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 橋面舗装工	式	1			
---- 橋面防水工 新設 シート系防水, 200m ² 以上	m ²	291			第 7号表 数量コードKH1
---- 表層(密粒度(13)消石灰入り t=40mm)	m ²	291			一層目 SP 4号表 数量コードKH1
---- 基層(車道・路肩部)	m ²	291			二層目 SP 5号表 数量コードKH1
-- 鋼橋足場等設置工	式	1			
--- 橋梁足場工	式	1			
---- 足場工 Case 1 桁高1.5m未満	m ²	382			M0400 第 8号表 数量コードAB1
-- 仮設工	式	1			
--- 土留・仮締切工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 大型土のう撤去 作業半径6mを超え20m以下 - 3m以上から2m以下	袋	115			第 14号表 数量コードD3
---- 掘削	m ³	800			SP 6号表 数量コードKU1
---- 残土処分	m ³	910			M1512 第 15号表 数量コードZ10
---- 廃プラスチック運搬・処分	m ³	1			M1513 第 16号表 数量コードD4
---- 舗装版破碎	m ²	359			SP 9号表 数量コードKH2
---- アスファルト殻運搬・処分	m ³	18			M1514 第 17号表 数量コードKH3
---- コンクリート殻運搬・処分 無筋Co殻	m ³	65			M1515 第 18号表 数量コードKK3
---- 部材撤去 (レール) 路側用 A・B・C種、歩道用 Ap・Bp・Cp種 支柱間隔4m	m	12			第 19号表
--- 仮橋・仮橋工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 仮橋工					M0550
	式	1			第 20号表
--- 交通管理工					
	式	1			
---- 交通誘導警備員					
	式	1			第 35号表
直接工事費計					
工種区分 No. 8 鋼橋架設工事					
共通仮設費 (地域補正しない)					
	式	1			
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (地域補正しない)					
	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

仮設路 (本線)			数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			MD1 盛土				
			数 量	平均値	立積 (06)		
0	+0.00	0.00	22.80				
0	+2.50	2.50	11.50	17.150	42.880		
0	+8.50	6.00	10.00	10.750	64.500		
0	+10.50	2.00	20.40	15.200	30.400		
1	+0.50	10.00	15.80	18.100	181.000		
1	+10.50	10.00	11.80	13.800	138.000		
2	+0.50	10.00	6.10	8.950	89.500		
2	+10.10	9.60	1.20	3.650	35.040		
合	計	50.10	(MD1)		581.320		

迂回路 (左側)			数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			MD2 盛土				
			数 量 平均値 立積 (06)				
0	+0.00	0.00	0.30				
0	+6.50	6.50	6.00 3.150 20.480				
0	+14.80	8.30	16.50 11.250 93.380				
合	計	14.80	(MD2) 113.860				

迂回路 (右側)			数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			MD3 盛土				
			数 量 平均値 立積 (0 6)				
0	+0.00	0.00	16.70				
0	+5.40	5.40	13.10 14.900 80.460				
0	+8.70	3.30	1.00 7.050 23.270				
合	計	8.70	(MD3) 103.730				

大型土のう			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
左岸側	OD 1 (0 2)	= 8		
		= 8.000		
			
右岸側	OD 2 (0 2)	= 107		
		= 107.000		
			
合計	OD 3 (0 2)	= OD1 + OD2		
		= 8 + 107		
		= 115.000		
廃プラ	OD 4 (0 2)		
		= 115 / 137		
		= 0.840		

橋面舗装			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
橋面舗装	K H 1 (0 2)	$= 4.0 * (73.27 - (2 * 0.2))$ $= 291.480$ <div>.....</div>		
仮設路舗装	K H 2 (0 2)	$= 359$ $= 359.000$ <div>.....</div>		
仮設処分	K H 3 (0 2)	$= KH2 * 0.05$ $= 359 * 0.05$ $= 17.950$		

仮設橋台			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
有筋Co	KK 1 (0 2)	$= ((1.38 + 1.39) / 2 * 0.5 * 5) + (0.8 * 3.5 * 5.0)$ $= 17.460$ <div>.....</div>		
無筋Co	KK 2 (0 2)	$= (3.7 * 5.2) * 0.1$ $= 1.920$ <div>.....</div>		
割栗石	KK 3 (0 2)	$= 1.25 * 52$ $= 65.000$		

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
足場	A B 1 (0 2)	<div>= 5.2 * 73.55</div> <div>= 382.460</div>	

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
掘削	K U 1 (0 6)	$\begin{aligned} &= MD1 + MD2 + MD3 \\ &= 581.32 + 113.86 + 103.73 \\ &= 798.910 \end{aligned}$ <div>.....</div>	
残土処分	Z D 1 (0 6)	$\begin{aligned} &= MD1 + MD2 + MD3 + OD3 \\ &= 581.32 + 113.86 + 103.73 + 115 \\ &= 913.910 \end{aligned}$	

残土処分量			
土 量 調 整 表			
** 発生土登録表 **	** (発生土→埋戻土→盛土) 流用表 **	** 残土処理場指定表 **	** 残土処理容量指定 **
発生土 変化率	発生土 - - - - 流用順位 - - - -	発生土 処理順位	
ZD1 914 0.90		ZD1 1 番目 Z10 914 → 914	Z10 99,999
			** 残土量合計 **
			Z10 914

MO200					
伸縮装置 ハイリフトジョイント CS-80 H=150					
第 1号表					
金 円 4 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
伸縮装置 ハイリフトジョイント CS-80 H=150	m	4			
補強鉄筋	kg	31			
差し筋アンカー	本	40			
スタッドボルト	本	40			
フィラープレート	kg	264			
孔埋め材	缶	1			
バックアップ材 200×100×2000	本	3			
超速硬コンクリート 試験費混み	m ³	1			

MO200					
第 1号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
伸縮装置設置工 ハイリフトジョイント CS-80 H=150	m	4			M1516
計					第 2号表
単価	m				

M1516 伸縮装置設置工 ハイリットジョイント CS-80 H=150						第 2号表
金	円	4 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋りよう世話役						1
		人				
橋りよう特殊工						1
		人				
はつり工						1
		人				
溶接工						1
		人				
左官						1
		人				
現場スタッド工						1
		回	1			
機械経費 クレーン装置付きトラック他						1
		m	4			
施工費諸雑費						
		%				

M1516					
第 2号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
諸経費					
	式	1			
計					
単価					
	m				

MO203					
地覆工 巾60cm 延長 73.27m 両側					
第 3号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
コンクリート					
		m 3	3 0		24-12-25BB W/C=55%以下 SP 1号表
型枠					
		m 2	9 1		SP 2号表
鉄筋 異形棒鋼 D13mm規格品SD345 一般構造物，一般構造物（補正無）					
		t	1. 7		市場単価を適用（材料を含む），10t未満 第 4号表
計					

鉄筋 異形棒鋼 D13mm規格品SD345 一般構造物、一般構造物（補正無） 金 円 1 t 当り 市場単価を適用（材料を含む）、10t未満 第 4号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
異形棒鋼 SD345 D13	t	1.03			
鉄筋工（鉄筋加工・組立） 一般構造物	t	1			1 市場単価（基準額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔加算率：S1〕 施工規模	%				
補正後市場単価	t	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

M O 2 0 4		橋梁用防護柵工 アルミ合金製C種高欄兼用車両防護柵 (H=850)				第 5号表	
金	円	1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
アルミ合金製C種高欄兼用車両防護柵材料費 (H=850) 標準型(長さ 2,000、先埋め)カー式		式	1			M O 2 0 5 第 6号表	
橋梁用高欄設置		m	149			SP 3号表	
計							

MO205					
アルミ合金製C種高欄兼用車両防護柵材料費					
(H=850) 標準仕様 2,000、先埋めアンカー式					
第 6号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
レベル用材料費 アンカーボルト、アンカーPL含む		m	96		
5%勾配用材料費 アンカーボルト、アンカーPL含む		m	53		
張出補強スリーブ		箇所	4		
計					

橋面防水工					
新設 シート系防水, 200m2以上					
第 7号表					
金 円 1 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋面防水工 (新設) シート系 (アスファルト系)	m2	1			1 市場単価 (基本額) [合計金額対象外]
(補正係数: 週休2日補正)	X				
補正後市場単価	m2	1			
諸雑費	式	1			
計 (合計金額対象外は除く)					

MO400 足場工 Case 1 桁高1.5m未満 第 8号表					
金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主体足場 パイプ吊足場 プレートガーダ、ボックスガーダ 供用月数：3. 2箇月	m2	100			第 9号表
安全通路 プレートガーダ、ボックスガーダ、供用月数：3. 2箇月	m2	100			第 10号表
部分作業床 プレートガーダ、ボックスガーダ、供用月数：3. 2箇月	m2	100			第 11号表
朝顔 プレートガーダ、ボックスガーダ、両側朝顔、供用月数：3. 2箇月	m2	100			第 12号表
床版追加足場賃料 3.2ヶ月	m2	100			M0401 第 13号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m2				

主体足場 パイプ吊足場 プレートガーダ、ボックスガーダ 供用月数：3、2箇月						第 9号表
金 円 1 m2 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう特殊工		人				
足場賃料		式	1			
諸 雑 費		式				
			1			
計						

安全通路 プレートガーダ、ボックスガーダ、供用月数：3. 2箇月 第 10号表						
金 円 1 m2 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう特殊工		人				
足場賃料						
諸 雑 費		式	1			
計		式	1			

部分作業床 プレートガーダ、ボックスガーダ、供用月数：3. 2箇月						第 11号表
金 円		1 m2 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう特殊工		人				
足場賃料						
諸 雑 費		式	1			
計		式	1			

<div> <div>朝顔</div> <div>プレートガーダ、ボックスガーダ、両側朝顔、供用月数：3. 2箇月</div> <div>第 12号表</div> </div>					
金	円	1 m2 当り			
積	算	項	目	単位	数量
橋りょう特殊工				人	
足場賃料				式	1
諸 雑 費				式	1
計					

MO401		床版追加足場賃料 3.2ヶ月		第 13号表	
金	円	1 m2 当り			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
足場賃料					
		式	1		
諸雑費					
		式	1		
計					

大型土のう撤去 作業半径6mを超え20m以下 - 3m以上から2m以下					
第 14号表					
金 円 10 袋 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
特殊作業員					1
	人				
ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型25t吊					
	日				
諸雑費					
	%				
計					
単価					
	袋				

M 1 5 1 2

残土処分

第 15号表

金 円 100 m3 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
残土処分	m3	130			処分先：大河原事業（株）川口残土処理場 第3種建設発生土 島田市身成35
土砂等運搬	m3	100			SP 7号表
計					
単価	m3				

M 1 5 1 3

廃プラスチック運搬・処分

第 16号表

金 円 1 m3 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
現場発生品及び支給品運搬	t	0.35			SP 8号表
処分費 廃プラスチック	m3	1			処分先：(株)キャラバン 瀬工場 藤枝市瀬395
計					

M 1 5 1 4

アスファルト設置搬・処分

第 17号表

金	円	100 m3 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
設置搬	m3	100			SP 10号表
処分費 As塊	m3	100			処分先：セイエン商事（株）藤枝工場 藤枝市稲川字大下891-2
計					
単価	m3				

M1515		コンクリート殻運搬・処分 無筋Co殻				第 18号表
金	円	100 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬		m3	100			SP 11号表
処分費 Co無筋		m3	100			処分先：(株)紅林建材中間処理 藤枝市高洲82-4
計						
単価		m3				

部材撤去 (レール)					
路側用 A・B・C種、歩道用 Ap・Bp・Cp種 支柱間隔4m					
第 19号表					
金	円	1 m 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
ガードレール部材撤去工	レール撤去				1
路側用、A、B、C、Ap、Bp、Cp		m	1		市場単価 (基本額) [合計金額対象外]
(補正係数: 週休2日補正)		X			
補正後市場単価		m	1		
諸雑費		式	1		
計 (合計金額対象外は除く)					

M O 5 5 0					
仮橋工					
第 20号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仮橋上部工					M O 5 5 1
	式	1			第 21号表
仮橋下部工					M O 5 5 2
	式	1			第 26号表
計					

金 円		1 式 当り			
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮橋上部工材料費 PG橋 (W=4m L=76m) 3ヶ月リース 締結式床版	式	1			M1510
上部工 撤去工 杭基礎形式	t	74.4			第 22号表
覆工板撤去工 杭基礎形式	m ²	304			第 23号表
高欄撤去工 杭基礎形式 ガードレール型	m	152			第 24号表
舗装版破砕 (t=50mm)	m ²	304			第 25号表
アスファルト殻運搬・処分	m ³	15			SP 9号表
計					M1514
					第 17号表

M1510					
仮橋上部工材料費 PG橋 (W=4m L=76m) 3ヶ月リース 締結式床版					
第 22号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
賃貸料					コメント行
PG部材		t	74.4		
PG床版 (滑止付)		m2	304		
計					

上部工 撤去工 杭基礎形式						第 23号表
金 円	10 t 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋りょう世話役	人				1	
橋りょう特殊工	人				1	
溶接工	人				1	
普通作業員	人				1	
クレーン類運転 クローラ 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型（2014年規制）	日					
諸 雑 費	%					
計						
単価	t					

<div> <div>金</div> <div>円</div> <div>100 m2 当り</div> <div> <div>覆工板撤去工</div> <div>杭基礎形式</div> </div> <div>第 24号表</div> </div>					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
とび工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
クレーン類運転 クローラ 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(2014年規制)					
	日				
諸 雑 費					
	%				
計					
単価					
	m2				

高欄撤去工 杭基礎形式 ガードレール型					
第 25号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
とび工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
クレーン類運転 クローラ 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(2014年規制)					
	日				
諸 雑 費					
	%				
計					
単価					
	m				

MO552 仮橋下部工						第 26号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
仮橋下部工材料費 3ヶ月リース	式	1			第 27号表	M1511
枕材つなぎ材等撤去工 杭基礎形式	t	9.3			第 28号表	
杭橋脚引抜工 KP1及びKP2 (H形鋼H300)	式	1			第 29号表	M0560
構造物とりこわし	m3	17			第 32号表	数量コードKK1
構造物とりこわし	m3	2			第 33号表	数量コードKK2
コンクリート設運搬・処分 鉄筋Co設	m3	17			第 34号表	M0309 数量コードKK1
コンクリート設運搬・処分 無筋Co設	m3	2			第 18号表	M1515 数量コードKK2
計						

M 1 5 1 1					
仮橋下部工材料費					
3ヶ月リース					
第 27号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
賃貸料					
					コメント行
支持杭 (H300)		t	10. 5		
支持杭 (H350)		t	13. 8		
計					

枕材つなぎ材等撤去工 杭基礎形式						第 28号表	
金	円	10 t 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋りよう世話役			人				1
橋りよう特殊工							1
溶接工			人				1
普通作業員							1
クレーン類運転 クローラ 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型（2014年規制）			日				
諸 雑 費							
計			%				
単価			t				

MO560 杭橋脚引抜工 KP1及びKP2 (H形鋼H300)						第 29号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
KA1 杭橋脚引抜 (引抜長 9.4m) 引抜長: 10以下 クレーン: 90t吊	本	3			第 30号表	
KP1杭橋脚引抜 (引抜長 10.1m) 引抜長: 13以下 クレーン: 90t吊	本	6			第 31号表	
KP2杭橋脚引抜 (引抜長 12.3m) 引抜長: 13以下 クレーン: 90t吊	本	6			第 31号表	
計						

パイプロハンマ施工によるH形鋼の引抜き 引抜長：10以下 クレーン：90t吊					
第 30号表					
金 円 10 本 当 り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
とび工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
パイプロハンマ杭打機 運転 電動式パイプロハンマ 60kW					1
	日				
諸 雑 費					
	%				
計					
単価					
	本				

パイプロハンマ施工によるH形鋼の引抜き 引抜長：13以下 クレーン：90t吊					
第 31号表					
金	円	10 本 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
とび工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
パイプロハンマ杭打機 運転 電動式パイプロハンマ 60kW					1
	日				
諸 雑 費					
	%				
計					
単価					
	本				

構造物とりこわし					
第 32号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（鉄筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

構造物とりこわし					
第 33号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（無筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

MO309

コンクリート殻運搬・処分
鉄筋Co殻

第 34号表

金	円	100 m3 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	m3	100			SP 12号表
処分費 Co有筋	m3	100			処分先:(株)大塚沼伏プラント 島田市阪本字中原2581-2
計					
単価	m3				

交通誘導警備員

第 35号表

金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B						56日、2人
		人	112			
計						

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝24 - 12 - 25 (20) - BB W/C 55%以下	SP 1号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝鉄筋・無筋構造物	SP 2号表
橋梁用高欄	設置方法＝組立式	SP 3号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝3.0m超，材料＝各種（2.30以上2.40t/m3未満），瀝青材料種類＝タックコート 選択 *アスコン，*1層当り平均仕上り厚＝40mm，&瀝青材料規格＝タックコート PK-4	SP 4号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝3.0m超，材料＝各種（2.30以上2.40t/m3未満），瀝青材料種類＝無し *アスコン，*1層当り平均仕上り厚＝40mm	SP 5号表
掘削	土質＝土砂，施工方法＝オープンカット，押土の有無＝無し，障害の有無＝無し，施工数量＝5,000m3未満 *土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 6号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準，積込機種・規格＝バックホウ山積0.8m3（平積0.6m3），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む）， DID区間の有無＝有り，運搬距離＝31.5km以下	SP 7号表
現場発生品及び支給品運搬	トラック機種＝トラック〔クレーン装置付〕ベストラック2t積、吊能力2.9t，DID区間の有無＝無し，片道運搬距離（ km）＝14.0km以下	SP 8号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝不要，舗装版厚＝15cm以下，積込作業の有無＝有り	SP 9号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚15cm以下），DID区間の有無＝有り，運搬距	SP 10号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
般運搬	離 (k m) = 1 0 . 5 k m 以下	SP 1 0 号表
般運搬	般発生作業=コンクリート (無筋) 構造物とりこわし, 積込工法区分=機械積込, D I D 区間の有無=有り, 運搬距離 (k m) = 1 0 . 9 k m 以下	SP 1 1 号表
般運搬	般発生作業=コンクリート (鉄筋) 構造物とりこわし, 積込工法区分=機械積込, D I D 区間の有無=有り, 運搬距離 (k m) = 1 8 . 5 k m 以下	SP 1 2 号表

特別調査価格参考資料

(参考様式：特別調査価格)

- ・この「特別調査価格参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な積算に資するための資料であり、契約約款第1条にいう設計図書ではありません。
- ・この「特別調査価格参考資料」の有効期限は、本建設工事の入札日までとします。

建設工事名： 令和7年度（道補）瀬戸口橋更新工事

建設工事箇所： 藤枝市本郷地内

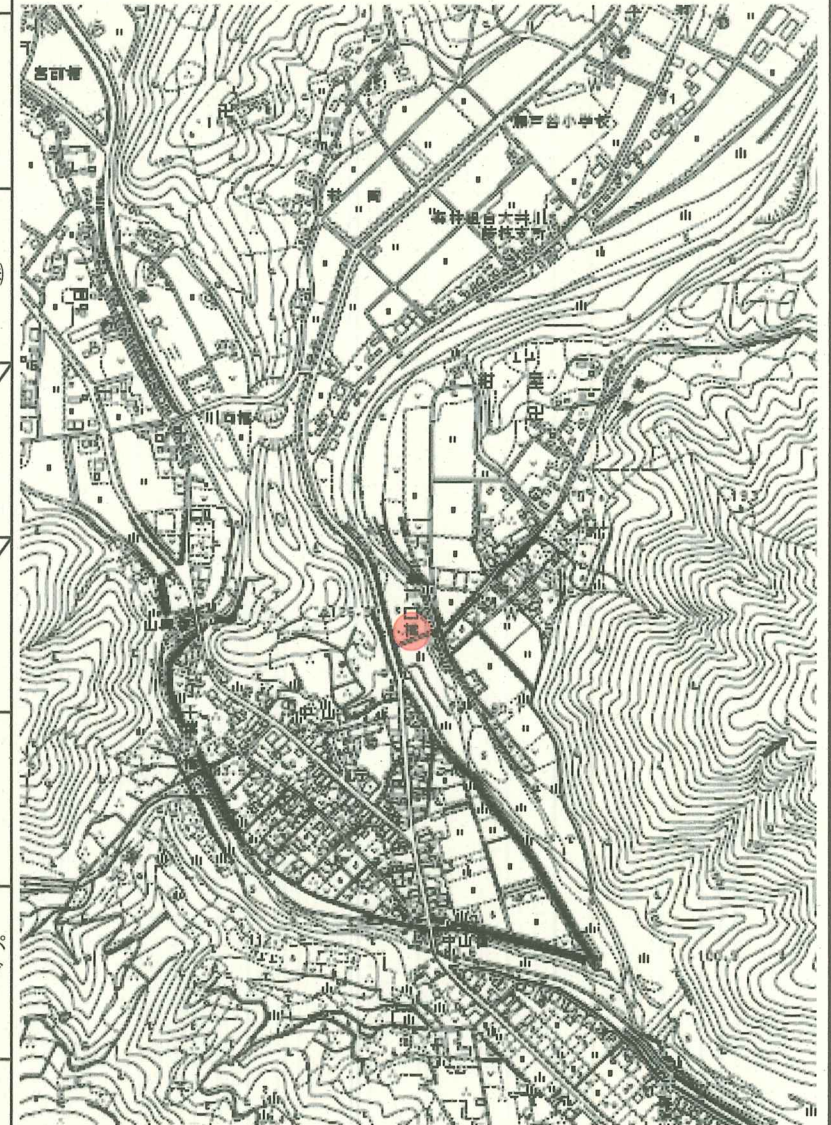
本建設工事の工事価格の積算に使用した特別調査価格は以下のとおりです。

[illegible]

地下埋設物調書

令和7年度（道補）瀬戸口橋更新工事

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	地下埋設物管理者に無いことを確認した。				上水道課
ガス管	地下埋設物管理者に無いことを確認した。				東海ガス(株)
大井川広域水道企業団	地下埋設物確認図により無いことを確認した。				
大井川土地改良区	地下埋設物確認図により無いことを確認した。				
N T T ケーブル	地下埋設物管理者に無いことを確認した。				NDS(株)
中部電力ケーブル	地下埋設物管理者に無いことを確認した。				中部電力パワーグリッド(株)
下水道管	地下埋設物管理者に無いことを確認した。				下水道課



情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が 28.5% 以上の場合を 4 週 8 休以上とする。
- (4) 週休２日 対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休２日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、１週間に２日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が 28.5% に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が 28.5% 以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日